

# 関東アコーディオン演奏交流会

No. 4

## 実行委員会ニュース

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>

2012.7.23 発行  
ニュース担当者  
乙津・小神・仙仁

皆さん申し込みは済みましたか！

締め切りは**7月31日**です。

= 特別審査員に**有田 純弘氏** (ありた よしひろ) =

- ギター、バンジョー、マンドリンなど多くの弦楽器を弾きこなし、ジャンルの壁を越えて活動しているマルチ・アコースティック・ミュージシャン。

第24回関東アコーディオン演奏交流会「第5回実行委員会」を開催しました  
7月16日(月・祝)午後6時より、第5回実行委員会をエデュカス東京に於いて開催しました。  
(参加者:宇野、仙仁、乙津、東谷、北村、池田、山口、前原、田代、)

### 〈討議内容〉

- ① 実行委員が所属の教室、グループの出場参加状況を報告し合いました。実行委員が呼び掛けた中で、出場するか迷っている団体等が幾つもあるようなので分担して確認することになりました。
- ② 当日は、司会、呼び出し、進行、椅子出し、計時、接待など要員が大勢必要になります。特に「合奏、重奏、小アンサンブル」の年は、各教室やサークルの中では、殆どの方が出場するので、当日、裏方としての要員が不足がちです。そこで、サークルや教室以外に友達などにも対象を広げ要員の確保に努めることになりました。
- ③ 参加協力券を作成する。聴きにきてくださる方は、参加協力券(1,000円)を購入していただくこととなります。(友人など知り合いの方にも広めていただくように、ニュースに同封する)
- ④ プログラムへの広告について…実行委員会ニュース3号と一緒に広く「広告記載のお願い」を呼び掛けました。例年広告を頂いている所には今年もお願いし確認します。

### 目次

- |                       |                 |             |
|-----------------------|-----------------|-------------|
| ■ 委員会の報告……1           | ■ お知らせとお願い……2   | ■ 楽譜の作り方……3 |
| ■ アコと人生「和田欣也氏」……4,5,6 | ■ 群馬アコニュースより……7 |             |
| ■ 曲集の紹介……8            | ■ コンサート情報……9,10 |             |



## 提出用楽譜の作り方

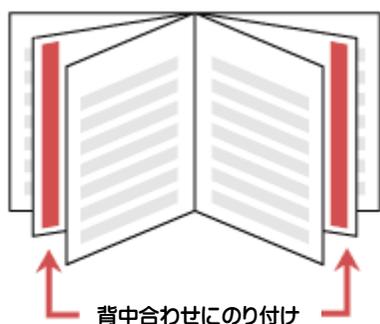
### 提出用の楽譜について

- ★ 製本手順を参考に冊子状に製本したものを用意してください。  
重奏、小アンサンブル部門は各 11 部、合奏部門は 6 部送ってください。  
楽譜の送付締め切りは 8 月 31 日（火）です。
- ★ 楽譜は審査用に使いますので、出来るだけ見やすいものを用意してください。  
提出していただく楽譜は、審査の際、審査員の先生方にアドバイスを書き込んでもらうためのものです。（演奏交流会終了後に演奏者にお返しします）

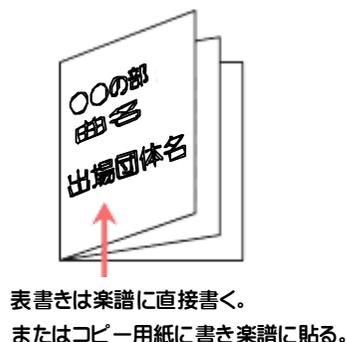
### 楽譜の製本手順

1. 見開きで B4 サイズ～A3 サイズの楽譜を準備します。
2. 楽譜を背中合わせにのり付けし、冊子の状態にします。
3. 表紙の部分に「参加部門」「曲名」「出場団体名」を記載します。  
表書きは楽譜に直接記載してください。（できるだけ薄くなるように作成してください）  
表書きをした別紙を楽譜に貼る場合は、コピー用紙を使用してください。

製本の仕方

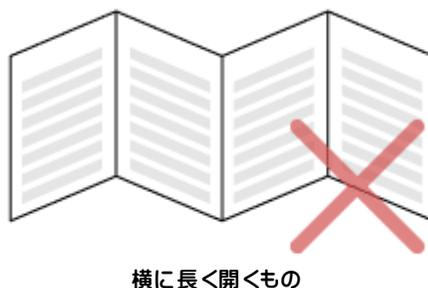


表書きの書き方



### 不適切な楽譜の例

- ★ 練習中に先生から受けたアドバイスや覚書メモを書き込んだままの楽譜をコピーしたもの。
- ★ 一部、または特定の部分を蛍光ペンでなぞった楽譜をコピーしたもの。
- ★ 表書きに厚紙を使用したもの。
- ★ その他、以下のような例も不適切です。（ホッチキスでとじたもの、横に長く開くもの）



## アコと人生…この人にインタビュー《第13回》「和田欣也さん」

今回は、千葉アコーディオンサークルに所属の「和田欣也」さんを紹介いたします。関東アコから実行委員の池田氏と筆者の二人で訪ねました。7月6日（金）12時30分「千葉」駅さごう前で待ち合わせをし、喫茶店にて千葉アコとの出会いや音楽と人生について語っていただきました。

今回は、三人で話したので、対談風にまとめてみました。（W：和田氏、I：池田氏、O：筆者、）

**(O)** 今日を楽しみにしていましたのでよろしくお願ひします。

早速ですが、生まれはどちらでしょうか。

**(W)** 昭和21年12月宮崎県延岡市で生まれて、高校卒業まで九州で育ちました。地元には旭化成の工場があり、戦時中は爆弾を作っていたため南九州でも延岡だけ空襲に会い、親達は逃げ回っていたと聞いています。

勉強は嫌いだっただけど、親が大学は何処でもいいから東京へ行けと、「じゃ行ってやるよ」そんな感じで東京へ出て来ました。そのとき親が言った言葉は「4年間日本の中心を見て来い、就職したら何処行くかわかんないからとにかく日本の中心で遊んで来い」と“あぁいい言葉だなあ”と思った。自分の子どもにはとても言えません、今になって凄いい言葉だなあと思います。

**(O)** アコーディオンに出会うのは東京へ出てきてからですか？

**(W)** 15歳離れた兄が地元でタンゴバンドをやっていてアコーディオンを弾いていたので家に楽器がありました。高校2年の頃兄が使っていた楽器を見つけて3年まで弾いていました。東京に出てきてからは、たまたま実家に帰ったとき弾く位でした。

誰に教わる訳でもないし、「F」の曲だったらそこを「D」にして一生懸命追っかけ追っかけやっていました。“#”だったり、“b”だったりしたらそのラインの音を半音上げたり下げたりすればいいんだなって解ってからすごく面白くなりました。

最初に弾いた曲が「ベサメ ムーチョ」なんです。これ（人差し指）1本でレ、レ、レ、レ、ミ、ファ、ラって、もう滅茶苦茶ですよ。（笑）ある程度慣れてきて、鍵盤は押さえるだけでペローで弾くもんだなって解りました。空気の流れて音がでて曲を作るんだなって思った時にリードが“絵筆”に思えたんです。リードが絵筆で、

心のキャンバスに絵を描いているんだなあ。それで、何回弾いても変わらなくなった時が「絵」が仕上がった時と、そう思ったんですね。

今は、自分が描く絵を弾いている時に、それと同じことを聴く人に感じてもらえたらというのが願望ですよ。

歌詞のある曲でしたら、一生懸命自分なりの物語を作ります。だから、譜面ではフォルテだけど自分はピアノシモだっっていうことが一杯あるんです。自分で物語を作り“ユーチューブ”で聴いてみると「あつ、こんなに違うんだ、少し合わせようか」ってなります。自分なりに1回やってみてっていうのが習ってないものの強みですよ。

**(O)** 大学では、サークル等に入らなかったんですか？

**(W)** 大学にタンゴバンドはなくて、クラシックがあったんです。で、「アコーディオンですけど出来ますか」って聞いたら、持っていますかと聞かれ、「持っていない」と答えたら、以前やった人がいるから1回来てください葉書を出しますからと言われて待っていたら、日にちの過ぎた葉書が届いたり入りませんでした。（笑）

東京に出てきてアコーディオンが欲しくて、神田の楽器店のガラス窓に顔くっつけて見ていました。そんな風に年月が過ぎ45歳の時、兄に「ホーナーの“モリノ”を売りたいという人がいる」と言われたんです。それじゃあ買って買いました。高校卒業して45までですから結構間が空いてしまいましたけど、それからもう1回やってみようかなあと思って始めました。

商売柄（自動車のリースや、荷台を特殊な形に改造する修理などの営業）お客さんの20周年記念だとかがあると、「和田さん来て弾いてくれ」って声を掛けてくれるので、そんな所で1時間くらい弾いたこともあります。

一番鍛えられたのは“アコーディオン喫茶カルフル”（「せせらぎ 木漏れ日 そよふく風」で検索できま

す)ですね。あそこで弾くと度胸が付きますよね。目の前にプロのアコーディオン奏者が座っているんですから。

**(O)** 普段どんな練習をしていたんですか？

**(W)** 習う機会も無く、1人で弾いていたから、初見で弾けるように、歌謡曲などは曲集の何処でもいいからいきなりぱっと開いて、知らない曲でも曲になるかどうか、そういうことばかりやっていました。

アコーディオンを買う45歳までの間は、好きなタンゴばかり聞いていました。ただ、心の中で、頭の中で自分で弾いている積もりで、歌詞があれば1番と2番と3番に合わせて、ここは本当に押し殺したように弾くんだろうな、とか想像して、それが絵になるんです。

**(I)**、**(O)**へえー、すごいなあ

**(W)** 好きだったんでしょうね。ただ、私のタンゴは、ピアソラじゃなくて「ファン・ダリエンソ」、「カルロス・ディ・サルリ」、「アニバル・トロイロ」などの楽団の時代ですから。

**(I)** そうか、僕も昔から好きでね。和田さんにはタンゴがバックボーンに有ったんだね。

**(O)** 千葉アコーディオンサークルに入るきっかけになったのはどんなことですか？

**(W)** やっぱり1人でやっているリズムがアバウトになりますから、他人と合わせたいと思ってインターネットでリンクして行って、その時船橋にタンゴバンドサークルみたいなのがあったので、どうしようかなと思ったんですけど、バンドネオンは弾けないと思いましたから、アコーディオンの方に行ってみようって2年前にメールしました。そこで1曲弾いてみてって言われて「奥様お手をどうぞ」を弾いたのが千葉アコサークルとの出会いです。

今18名ですけど、休会の方がいますから全部で21名です。素晴らしい仲間で、アコーディオンでも楽しいし、飲んでも楽しいし、本当に楽しい仲間です。良かったと思っています。

私は小指が動かないんですよ。習っていないから、だから4本で弾いているんです。ボタンアコやってみようと思ったって、親指でボディー押さえると残りの指は3本だから弾けないんですよ。取ずかしい話ですけど教則本見たわけじゃないですからデミニッシュコードは殆ど無視しています。ですから“対談”なんて止めてもらいたいですよ。(笑)でも不自由は感じません。

**(I)** そういう人いますよ。僕が知っている長野の友達にも目が不自由で指は3本(親指、人差し指、中指)で

弾く人がいます。そういう人って基本的に感性で弾くんだよね、テクニックを駆使しながら感性で弾くので、音にその人の感情とか色々なものが出てくる。そういう弾き方をするんだよね。

**(O)** どんなアコーディオンを使っているんですか？

**(W)** 今一番弾くのは、ビクトリアの「ネオルネッサンス」(41鍵、120ベース、MMMML、11.2キロ)ですけど、持っている楽器の中では軽いです。

一番最初に買ったのは先ほど言った45歳の時の「モリノ」、嬉しくて嬉しくて夜11時ぐらいまで弾いたから、家内に「いい加減にしてよ」って怒られました。

中古だったけど20万円ぐらいしました。20年前ですけど、中古でも通常60万円ぐらいしていましたから。

**(I)** それは本当にお買い得でしたね。

話を聞いていてそうなんだと思うのは、和田さんは「移動“ド”」でメロディーをパッと言える。そういう感覚を持っているの、だから移調なんか楽なの、どんな調でもすぐ弾ける感覚をすごく持っているの、強みだよな。色々な曲を弾く時にそういう感覚を持っていることってすごく大事なんですよ。

**(W)** 転調は難しいですね。上手く行かないですね。

**(I)** そう言う風に「移動ド」で言えるっていうことは、違う調になったときにその調で、レ、ミ、ファ、を弾けばいい訳だから。

**(W)** そうですね、結構頭の中に、レ、ミ、ファが出てきますから。

**(I)** 話の途中で良く絵が出てくるけど、絵画がお好きなん



でか？ (対談中の和田氏:写真左と池田氏:右)

**(W)** 好きと言うよりか、自分の中で、その曲に対する絵なんです。

**(I)** そうか、そういうことなんだ。

**(W)** 弾いている間はずーっと動画です。ずーっと仕上げていって最後にその世界が完成する。最初にリードって絵筆だなあと思った時からずーっとそのように弾いています。

**(I)** へえー、そういう風に音楽を捉える人って面白いね。

**(W)** 曲は物語ですから。御喜美江さんの言葉ですごく好きなのがあって、それは、同じメロディーを2回繰り返

返している、その時に同じな訳がない。例えば、1回目は朝だったら次は昼かも知れない、1年後かも知れない。その時間の流れというのがあるんだから、そのことを考えて弾けっというのが心に残っています。そうだなあと思いました。

(I) それは絶対そうですよ。100パーセントそうですよ。1回出てきてもう1回出てきたときは、そこは2回目の格好をしていないとつまらない。

(O) タンゴがもどになっている様だけど、今どんな曲を練習しているんですか？

(W) タンゴは絶対続けて行きたいですね。やっぱり自分がこの楽器を好きになり音楽を好きになった基本ですから。弾きたいというか、感情を出しやすいし、タンゴでなくても「城ヶ島の雨」とか、あれを感情豊かに、例えば、あの中で船が出て行く、その船が帰ってくるか来ないか、帰って来ないと決めてメロディーを弾いてみたけど。実際は全然逆だったりして、ああ、この人は船が帰ってくると思って譜面作ったんだなあと思ったり、そんな風に感情だけっていう形で弾いていますね。

(O) 千葉アコでは合奏もしているから、俺はここはこうなんだけどなあなんて思うことがあるんじゃないですか？

(W) ありますよ。一番不得意な分野だよなと思いがら合奏やっています。(笑)、だから入った頃は結構音が大きかったですね。自分の音を大きく出して、とにかく相手に聴こえるようにしましたけど、今は溶け込むようになりました。そういうことだと思います。自分の中で溶け込んでいっているように。

最初はね、合わせるのが面白くて合わせて、その内に何か違くなって思って、今は慣れてきて仲良く仲良くってやっています。



(愛用のネオルネッサンスで練習中の和田氏) ↑

(O) 和田さんはフルタイムだし、どういうところで時間を作って練習しているのか不思議なんだけど、練習法を知りたいですね。

(W) アコーディオンを弾いての練習っていうのは結構短いんですよ。車を運転している時、頭の中でぐるぐる

っと、そのとき気が付くのが多いんです。例えば、この曲やっていて下げが面白くないなあ、あっ、アルペジオでちょっと音を拾ってみようとか。ですから、「和田さんちょっとこれやってみてください」って言われたとき「ちょっと待ってください、1日頭の中で考えますから」ってそうすると出来るんですよ。それから音にする。逆に音から入ると駄目なんですね。だから一週間弾かないこともざらですよ、ですけど、今はちょっと帰るのが早いからです(午後6時半頃帰る) そうすると30分ぐらい音を出してみたりしますが、自分の好きな曲を最初に1曲だけやって、その後はみんなと一緒にやるアンサンブルのを1回ぐらいやっておかつて(笑)

(O) 練習は毎週あるんですか？

(W) 月に3回です(第1、第2、第3土曜日)それで、午後1時から5時までです。30分休憩が入りますが結構長いですよ。

午後1時って、仕事をしていると大変なんですよ、食事を入れると11時にはもう動き始めなきゃいけないですから。1人だけ我がまま言えないですからみんなと一緒にやっています。

(I) 1度練習見に行きたいなあ。

(W) 是非いらしてくださいよ。講師の森先生は、本当に優しく教えますし、褒めながらね。悪い所があっても、あっ、ここが良かったですねっていいながらやりますよ。

(O) 最後に、和田さんは多少のことなら楽器の修理もなさると聞きましたが、構造に興味をお持ちなんですか？

(W) 高校時代から好きだったです。ちょっと曲げすぎてスリッパと鍵盤の間のフレームが折れたことが有ります。宮崎県の田舎のことだから何も無かった。知り合いの所で溶接してもらって(笑)、でもその頃からなんでこの音が出るのかなって理屈を知りたかったんですね。だから分解してリードを覗いて見たりして、リードって絵筆みたいだなあって思ったんですね。

最初はどうやるのか迷いましたよ。怖かったです、でも見ていると中のリードも裏から突き上げるとトーンと出てくるんですよ。でできたのを削ってまた戻してやる。

サークルの人に頼まれたのは、ビリビリ音が取れなくて、試しに蜜ロウを切つてリードをひっくり返して付け直してみたら直ったこともありました。(おわり)

お忙しい中貴重なお話を有難うございました。とても楽しく取材が出来ました。《文責：乙津》

## 群馬アコーディオンセンター

# 創立50周年記念祝賀会

日時 2012年9月2日(日)午後1時より  
会場 前橋市「テルサ」8階(JR「前橋」駅より徒歩15分)  
会費 500円

- 《第1部:式典》 20年以上の功労者表彰/特別表彰  
《第2部:特別演奏》 江森 登氏(38年にわたり指導)  
土生英彦氏(クロマチック・アコ)  
《第3部:祝賀会》 全県のサークルのメッセージ  
50年前の方々のメッセージ



※ どなたでも参加できます。 ■問合せ:027-233-5040(仙田)  
※ 今から予定して、たくさんの参加を、お待ちしております。

### 「群馬アコーディオンセンターの歴史」

#### 1. 群馬アコーディオンセンターは、いつ誕生したの？

今から50年前の1962年、群馬合唱団のアコーディオン伴奏者の養成を目指して誕生しました。

講師は、「東京音楽センター」から清村杜夫先生を迎えました。現在のように会館や集会所がなく、前橋市内の隆興寺幼稚園の一部屋を借りてスタートしました。一期生は15名でした。

#### 2. 第一回目の総会はいつ頃でしたか？

前橋教室(その当時はサークルではなし)に県内各地からレッスンに来ていた仲間が、地元に戻って教室をつくりました。

1966年4月、伊勢崎、沼田、1967年4月、桐生、1968年4月、原町、1969年4月、嬭恋、9月、太田、1970年5月、富岡教室ができました。

お互いに交流をしているうちに規約の話しが持ち上がり、27名参加で1970年7月21日、第一回の総会が開催されました。

#### 3. 第一回目の演奏会はいつごろ？

1970年8月、渋川サークルが誕生し、その年の9月6日(日)前橋市の「労使会館」で開催されました。観客は満員で、記録によると270名でした。

第二回目の演奏会は、1972年3月11日(日)前橋市の県民会館小ホールで開催されました。観客は、350名でした。

#### 4. 江森教室は、いつ、何の目的で始まりましたか？

たくさんのサークルが誕生し、レッスンが始まるにつれ、それぞれのサークルで、教え方や技術に差がでてきました。何か良い方法はないかと思案していたところ、江森先生に出会いました。

1974年3月16日に、最初のレッスンが始まりました。各サークルより代表者がレッスンを受け、それをサークルに戻ってからまた、教えることにしました。講師講習会も毎年実施され、次第にサークル間の差はなくなりました。

## ＝曲集の紹介＝

### ■「れんげ畑とお地藏さん」著者：木下そんき

～木下そんき作品集選集Ⅳ【器楽編・アコーディオンワークス】～

#### 著者から一言

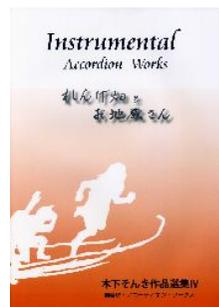
日頃お世話になっているアコーディオン仲間の皆さんに、アンサンブルの楽しさを味わって欲しいとの思いから、「弾き手がそれぞれ楽しめるように」作曲、編曲してあります。

私とその仲間達の足跡をとこところにちりばめたので、仲間と共に人生の記録にもなりました。また、作品の生い立ちがわかるように、作品一つ一つに誕生のきっかけや演奏する際のアドヴァイスを付しました。

**収録曲：《オリジナル編》** チェロとピアノのためのエピソード「日本の子どもの歌」／ピアノ五重奏のための小行進曲「青春の歌」／アコーディオン独奏曲／アコーディオンアンサンブル

**《編曲編》 独奏曲：**花をおくろう（荒木 栄）／津軽のふるさと（万籟目 正）／ダニー・ボーイ／他

**アンサンブル：**愛の挨拶（エルガー）／ムーンライトセレナーデ（グレンミラー）／ソーラン節（北海道民謡）／他 ■問合せ：Tel&Fax 049-292-6450 ■定価：3.000 円（JAA 会員は 500 円引き）



### ■「～音楽療法にも使える～いきいきアコーディオン曲集」著者：坂本光世

#### 序文より抜粋

私はアコーディオンを演奏していることで、リハビリ病院・介護現場・グループホーム・各種学校などへの出張演奏にも恵まれるようになりました。

一方、私のアコーディオン指導業では、介護現場で弾きたい又は、仕事柄弾かなくてはならないという生徒さんの増加を実感しております。

これらの経験から「学習しやすい」、「現場で用いやすい」、「指導しやすい」という 3 ニーズから考えた曲集を編集させていただきました。

今回はシニア層に聞いていただくことをコンセプトに絞りましたので、選曲の基準は、抒情歌・童謡・唱歌・懐メロ・フォークソング・タンゴなどです。（いずれも現場での人気曲）

**収録曲：**知床旅情／朧月夜／テネシーワルツ／四季の歌／子守唄メドレー／古城／長崎の鐘／君恋し／わらべ歌メドレー／汽車メドレー／レッツ・キッス（ジェンカ）／手のひらを太陽に／他（全 23 曲）

**《注文方法》** 全国の書店・楽器店／インターネットのショッピングサイト「アマゾン」「楽譜ネット」で「いきいきアコーディオンで検索」／出版社：オンキョウ・パブリッシュ 048-471-8551／筆者（坂本） [msakamo@dream.com](mailto:msakamo@dream.com) 携帯 090-8443-0305 ■定価：1.575 円



## ＝ ホワイトボード（連絡はがきその他より） ＝

### ♪ 第 24 回 平山アコーディオン教室発表会 ♪

日 時 2012 年 9 月 16 日（日） 12:30 開演 12:00 開場 ★入場：無料

会 場 川崎市中原市民館 2 階ホール★JR 南武線・横須賀線・湘南新宿ライン・東急線「武蔵小杉」徒歩 3 分

曲 目 荒城の月変奏曲／奥様お手をどうぞ／12 番街のラグ／小さな喫茶店／人生に乾杯／他

問い合わせ 平山アコーディオン教室 Tel 044-411-3561

ホワイトボード (連絡はがきその他より)

♪ 谷口サンデートーク『アコーディオンを語る集い』♪ \* 谷口楽器のホームページより \*

第118回 2012年8月19日(日) 13:00~14:30 講師: 横森良造氏「アコーディオン・アラカルト(43)」

第119回 2012年9月2日(日) 13:00~14:30 講師: 渡辺芳也氏

第120回 2012年9月16日(日) 13:00~14:30 講師: 横森良造氏「アコーディオン・アラカルト(44)」

第121回 2012年9月30日(日) 13:00~14:30 講師: 安西 創氏「ボタンアコ・デコボコ道中(3)」

会場 谷口楽器4階アコーディオン売り場 ◆住所 千代田区神田駿河台1-8 タニグチビル4階

問い合わせ 要予約 TEL03-3291-2711 Fax 03-3291-5188 ★各回定員 20名(入場無料)

<http://www.taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

♪ 羽ばたく 3組のアーティスト達 ♪ \* 主宰:公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団 \*

日時 2012年8月11日(土)14:00開演 13:30開場 ■全席自由:前売り1,800円/当日2,000円

会場 くにたち市民芸術小ホール ★交通:JR南武線「矢川」駅、または「谷保」駅から徒歩10分

出演者 <<第1部>> トロンボーン:新山久志/橋本勇太/尾山碧 バストロンボーン:菅原薫

演奏曲:ユーモレスク/誰も寝てはならぬ/他

<<第2部>> アコーディオン:坂本光世 コントラバス:鈴木克人

演奏曲:パリの空の下/真珠とりのタンゴ/マジック フィンガーズ/他

<<第3部>> ギター:坂伊藤賢一

演奏曲:ゆきどけ(雪国観光園テーマ曲)/タンゴ アン スカイ/他

問い合わせ くにたち市民芸術小ホール Tel 042-574-1515 Fax 042-574-1513



♪ Accordion Live@PORTLATE ♪ \* お席に限りがありますので、ご予約の上お越し下さい \*

日時 2012年8月19日(日) 15:00開演 14:30開場

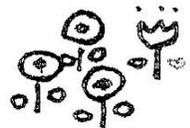
会場 ポートレート高円寺店 ★JR中央線「高円寺」駅北口ロータリーより徒歩1分

プログラム アコーディオンソロで、フレンチジャズ/ラテン/ケルト音楽/ボサノバなどを演奏します。

暖かい音色に間近で触れていただく機会です。(チラシより)

会費 チップ+オーダー(500円~軽食・お食事・アルコールもあります)

問い合わせ PORTLATE:03-5373-0723 営業時間:18:00~26:00(火曜定休)



♪ ともしびフェスタ 2012 ~ 明日へ ~ いのちのバトンを ♪

日時 2012年9月9日(日) 16:00開演 15:30開場 ※終演予定18:00

会場 前進座劇場 ★JR中央線、京王井の頭線「吉祥寺」駅南口より徒歩12分

プログラム <<第1部>>

音楽構成「いのちのバトン」(原作:松谷みよ子「死の国からのバトン」より)脚本原案:久保原 茂

<<第2部>>「ジ・アンサンブル」演奏と歌 リベルタンゴ/告別/他 ★うたごえコーナー

<<第3部>>こげよマイケル/みんなで刈り取ろう/ハンマーの歌/家路/祖国の山河に/明日と  
いう日が/他 (曲目は一部変更になる場合もありますのでご了承下さい)

料金 全席指定:3,500円 障がい者割引(500円引き)付き添いの方1名無料 団体割引(10名さま以上)1割引 (満席、500席になり次第販売を終了させていただきます)

問い合わせ ともしび事務所 Tel 03-3352-0231(月~土曜日 10:00~17:00)/FAX03-3352-0287

ホームページ <http://www.tomoshibi.co.jp> から申し込みいただけます。



---

ホワイトボード (連絡はがきその他より)

---

♪リシャール・ガリアーノ七重奏団 ピアソラ・フォーエヴァー♪\*

日時 2012年9月16日(日)15:00開演 14:30開場 ■全席指定:S席 5,000円/A席 4,000円

会場 鎌倉芸術館大ホール ★交通:JR「大船」駅から徒歩約10分

出演者 リシャール・ガリアーノ(アコーディオン・バンドネオン) / セバスチャン・シュレル(ヴァイオリン) / ヘル  
トラン・セヴェラ(ヴァイオリン) / ジャン・マルク・アパ(ヴィオラ) / エリック・ルヴィオノア(チェロ) /  
ステファン・ロジェロ(コントラバス) / チミトリ・ネティテユ(ピアノ)

曲目 リベル・タンゴ / オブリヴィオン、エスクアロ(鮫) / 天使のミロンガ / 百年の孤独 / パチンの少年 / 他

問い合わせ 鎌倉芸術館チケットセンター 0120-1192-40(9:00~19:00)

---

♪コチャニ・オーケスターconcert♪\*超絶、バルカン・ジプシー・プラスの最高峰バンド!!\*

日時 2012年9月28日(金) 19:00開演 18:30開場

会場 港南区民文化センター「ひまわりの郷」ホール

★京浜急行「上大岡」駅横須賀中央方面より3階出口 / 横浜市営地下鉄「上大岡」駅より出口6番

メンバー Ajlur Azizov (Vo) / Demir Shakirov (Vo) / Deladin Demirov (Sax/Clarinet) / Serchuck Alimov  
(Trumpet) / Raim Zejnelov (Trumpet) / Nebi Kanturski (Trumpet) / Nijazi Alimov (Baritone) /  
Suad Asanov (Baritone) / Shukri Zejnelov (Baritone) / Vinko Stefanov (Accordion) /  
Bilent Ashmedov (Tuba) / Enis Alimanovski (Tapan) ★クイーン・ハリシユ(ダンサー)

■コチャニ・オーケスター(文、写真は、チラシより一部を転記、転写)

マケドニア共和国コチャニ出身、バルカン・ジプシー・プラスの最高峰バンド。ル  
ーマニア、セルビア、トルコの伝統曲やポップスに加え、ルンバやサルサ、そしてイ  
ンド映画音楽までも取り入れたミクスチャー・プラス。バリエーション豊かな変拍子  
リズムとメロディー、熟練したブラス・ソロを武器に、個性豊かな音楽を奏でる。

料金 全席指定: 4,000円 ※未就学児の入場不可

問い合わせ ひまわりの郷:045-848-0800 / 株プランクトン:03-3498-2881(平日午前11時より午後7時まで)

ホームページは24時間受付 <http://plankton.co.jp>

---



♪Hakuju リクライニング・コンサート♪\*2012/2013シーズン前期の「第93回」に出演\*

日時 2012年9月29日(土) ■14:00開演 ■17:00開演

会場 Hakuju Hall(ハクジュ・ホール)

出演者 御喜美江(アコーディオン) 共演:大田智美(アコーディオン)

曲目 ピアソラ:パチンの少年 / S.V.P / チャオ・バリ / 白い自転車 / リベルタンゴ / 忘却 / 鮫 / 天使へのイ  
ントロダクション J.S.バッハ:幻想曲とフーガト短調 BWV.542 高橋悠治:雪・風・ラジオ

料金 普通席: 2,300円 リクライニング席(1ドリンク付): 2,800円 ★Lコード:31593

申し込み先 ハクジュ・ホールチケットセンター03-5478-8700(10:00~18:00 火~土※祝日、休館日を除く)

---

♪アコーディオン カルパッチョ コンサート♪\*アコーディオン・カルパッチョ・東部\*

日時 2012年10月27日(土)14:00開演 ■会費1,000円(高校生以下・障がい者無料)

会場 ティアラこうとう小ホール(江東公会堂) 交通:地下鉄都営新宿線「住吉」駅A4出口より徒歩5分

出演曲 ラ・クンパルシータ / 碧空 / 夜来香 / マイ・フェア・レディより五つの情景 / 他

問い合わせ 除村 裕(03-3649-6626)

---